

## (追加質問)

### 一般質問通告書

受領日時 令和7年 12月 8日 午前11時55分 2番 氏名 小玉 正範

質問項目	質問の要旨
1 赤倉山荘について	<p>(1) 赤倉山荘を継続するか廃止かの結論を今年度中に出すことになっている。その話合いは進んでいるのか。町民が納得できる丁寧な話合いをしてほしいが、現状はどうなっているのか。</p> <p>(行政報告に対する追加質問)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・赤倉山荘存廃検討会の構成メンバーの人数等は。</li><li>・検討会の今後の開催日数は。</li><li>・住民・町民の理解を得るための工夫は。</li></ul>

## 一般質問通告書

受領日時 令和7年 11月 26日 午前10時24分 2番 氏名 小玉 正範

質問項目	質問の要旨
1 赤倉山荘について	<p>(1) 赤倉山荘を継続するか廃止かの結論を今年度中に出すことになっている。その話合いは進んでいるのか。町民が納得できる丁寧な話合いをしてほしいが、現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) 源泉の湯量がしっかり出ているのなら、宿泊施設の機能をなくし、銭湯と休憩所・食堂だけの平屋建てにして、全面的な改築という考えはないのか。</p> <p>(3) 温泉が一つの町に3つもあるということで、もっと宣伝できないか。</p>
2 クマ被害対策	<p>(1) はこわなを設置する場所の条件は。また、危険回避のために設置している場所を公にして町民に知らせる必要はないのか。</p> <p>(2) 役場庁舎を含め、七倉から西磯ノ目を経て五城目高校までのこの地域でのクマの出没は、これまで頻繁に聞いている。外出する際も周囲に気を付けたり、外出を極力控えている状況である。今後の対策は何か。(具体的には、はこわなは設置できないのか。・緊急銃猟とその訓練はいつ実施する予定なのか)</p> <p>(3) 猟友会の皆さんはボランティアで命がけの仕事をおこなっている。秋田市や男鹿市・能代市・北秋田市等では、クマ対策費を計上し、獵友会への手当を値上げしているが、本町としても同様に予算を計上し、ハンター等の処遇を改善すべきではないか。</p> <p>(4) 現在、自衛隊の協力を得ているが、さらに今後、国のクマ被害対策パッケージの活用ができるなら、具体的にいつから、どのような対策が期待できるのか。(空き家の庭にある柿や栗の木、所有者不明の柿や栗の木を伐採できるか。ガバメントハンターは可能か。)</p> <p>(5) クマの捕獲・駆除数が多い本町では、クマ肉の処理に困っているのではないだろうか。他町村では、クマ肉を使</p>

	<p>ったジビエ料理の人気が高まっている。本町でも、クマ肉を使ったジビエ料理が作りやすいように、加工施設や体制を作ることはできないだろうか。可能になれば、クマ肉やイノシシ肉、さらにその肉製品をふるさと納税返礼品として出品したり、町特産品として売り出したりすることも可能であると思われる。町の厄介者である獣が町を豊かにすることに貢献できる可能性は高い。町の意向はどうか。</p>
3 町の森林活用のアイディアは	<p>(1) 11月初旬に行った県外研修で、岡山県西粟倉村での森林活用例を見てきたが、今後、本町として参考になる点はどのようなところか。</p> <p>(2) 西粟倉村にある公共の建物とその周辺にある木材加工品を見て、木材の価値を高めるのは、その活用の仕方にかかっていると思われた。五城目産の木材の価値を高めるための手立ては。</p> <p>(3) 町の山林は杉が大半だが、杉材は加工しやすい反面、比較的柔らかい素材であるため、表面に傷がつきやすく、加工時の割れやへこみが生じやすいのが特徴だ。そのため、町有林を活用して実験的に、ヒバ(針葉樹)や桐(広葉樹)を植えるなど、抜本的な対策はないか。</p>
4 五城目町出身の偉人について	<p>(1) 五城目町の「五城目の誇り すばらしい先輩たち」というホームページには、矢田津世子を含め17人の方が掲載されている。この中で、町として矢田氏の次に、町民や全国にご紹介したい偉人はいないだろうか。</p> <p>(2) 五城目町大川出身である木村謹治氏がゲーテ研究のドイツ文学者として東大で教鞭をとり、和獨大辞典を編集した功績がある。木村氏は、ゲーテ研究の世界的権威といってよい人物である。大川公民館には、顕彰碑と書籍・写真等の展示室があるが、町としてもっと、彼を大々的に憲章し、その功績をアピールするべきと思うが、どうか。毎年、10数名は県内外から公民館に見学に来ており、中には他県に住む親族の方も訪問し感慨深い様子であったと聞いている。</p>